

第6回：第1課 名詞文の肯定、否定、疑問の導入（2時限：90分）

学習目標：教室用語、挨拶、数字の定着練習を続け、且つ1課練習Aで名詞文の肯定、否定、疑問を導入する。

準備教材：あいさつ、第1課絵カード、1～10班。

教科書：『みんなの日本語1』及び『みんなの日本語1 学習補導用書』

学習者数：30人以下が望ましい。

T：OK？（疑問）[手でOKを作りながら]

S：OK！（肯定）

P.5

1）教室の指示の言葉

例、T：いち

S1：はじめましょう。

T：はじめましょう。

S：はじめましょう。（コーラス）

2）毎日の挨拶と会話表現

例、T：絵カード

S1：はじめましょう。

T：はじめましょう。

S：はじめましょう。（コーラス）

3）数字

例、T：1班

S：1班

T：2班の現物を見せて、その後3人がけの机に1つずつ設置し、グループ分け。

S：2班

6) 1 課絵カードで単語の導入:

学校、先生

例、皆さんは先生ですか。 いいえ、先生じゃありません。学生です。

会社、社員

例、山田一郎さんは松下の社員ですか。 いいえ、松下の社員じゃありません。IMC の社員です。

銀行、銀行員

例、山田友子さんは松下の社員ですか。 いいえ、松下の社員じゃありません。銀行員です。

病院、医者

例、ワンシュエさんは松下の社員ですか。 いいえ、松下の社員じゃありません。医者です。

大学、学生

例、イーさんは先生ですか。 いいえ、先生じゃありません。AKC の研究者です。

エンジニア

例、シュミットさんは松下の社員ですか。 いいえ、松下の社員じゃありません。パワー電気のエンジニアです。

P.8

7) 練習 A1 練習 B1、2

8) 練習 A2 練習 B3

9) 練習 A3 練習 B4

誰(谁)

あの人(那个人) / あの方(那位)

10) 練習 A4 練習 B5

も(也)

11) 練習 A5 練習 B6

12) 練習 A6 練習 B7

何歳(几岁) / おいくつ(多大岁数)

文型、例文、会話、練習Cはカリキュラムによって組み入れるかどうか判断する。

会話はCDとVCDが安価に提供されているので、紹介しても良い。

その他、教科書の内容を網羅するテープが販売されていることも紹介したほうが良い。